

平成20年度弁理士試験論文式筆記試験問題

[環境工学]

1. 一般廃棄物（ごみに限る）の日本人1人1日当たりのおおよその発生量及びその処理方法を3つ示せ。

【20点】

2. ごみ焼却施設の焼却方式は大きく分けて次の3つが挙げられる。それぞれについて50字前後で簡単に説明せよ。

【15点】

(1) ストーカ方式

(2) 流動床方式

(3) 直接熔融方式

3. 近年、地球温暖化対策のために、建物レベルでの省エネルギー対策が進められている。平成11年に改正告示された「住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主の判断と基準」及び「同設計及び施工の指針」（略称：住宅の次世代省エネルギー基準）がある。これについて以下の問いに答えよ。

【15点】

(1) 熱損失係数について簡単に説明せよ。

(2) 住宅の次世代省エネルギー基準における熱損失係数の地域区分の方法について簡単に説明せよ。

(3) 住宅の次世代省エネルギー基準におけるそれぞれの地域区分の熱損失係数基準を答えよ。